

新春を迎え、謹んで  
ごあいさつを申し上げます。

建設産業界の皆様におかれては、希望に満ちた新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。

旧年中、一般社団法人沖繩しまたて協会の活動に対し、皆様から深いご理解とご支援ご協力を賜りましたこと

す。沖繩では首里城焼失という不幸な出来事が起きました。

近年、インフラ整備に対する逆風は終息し、防災・減災、国土強靱化に対する国民的

理解が広まり、3カ年緊急対策が講じられるなど、必要な公共事業予算が確保されるようになってきました。一方、1990年代半

です。

また、担い手を確保し、労働生産性を向上

するためには、働き方改革が必要です。しかし、単に名目上の残業時間を短縮するだけで

は、却って働き手の収入を減少させたり、実労働の実態が不透明になつたりしかねません。真の働き方改革と

全・安心の確保、東アジアの中心としての交流拠点機能の強化、そ

して首里城の早期再建を含め美しく個性豊かな文化を有する観光立

県としての地域づくりに力を注ぐ必要があります。

沖繩しまたて協会 は、これまでも防災はもとより、沖繩の風土・環境を守り、そし



### 美しい魅力ある沖繩の 地域づくりりに邁進

(一社) 沖繩しまたて協会

理事長 木下 誠也

に心より厚く御礼申し上げます。

振り返ってみますと、東日本大震災や熊本地震、そして平成30年7月豪雨に続き、令和の世になって10月の台風19号により東海・

関東甲信・東北地方の広い範囲で水害・土砂災害をもたらすなど、大災害が多発していま

ば以降から十数年にわたる公共事業費の削減により業界が疲弊して

建設技術者・技能者が減少し、今では建設産業の担い手不足が深刻化しています。生産年齢人口が減少していく

状況において、今後のインフラ整備を担う若者の確保・育成をしっかりと進めることが重要

ためには、仕事のやり方そのものを根本から

見直す必要があると考えます。これらの取り組みを推進することにより、技術立国といわ

れたわが国の技術力を取り戻し、成長力を高め、魅力ある豊かで活力ある国づくりが実現すると思えます。

て生かし、安全で快適な地域づくりの一端を担っているとの認識のもとに努力してまいりました。本年も引き続き協会役員一同一層

職務に邁進、努力を続けてまいります。

関係の皆様のご支援、ご指導、ご協力をお願い申し上げます。ご挨拶いたします。

